

発行者 福富 恵美子/編集者 髙田 一範 **2014 年 1 月 10 月**

〒615-0882 京都市右京区西京極葛野町 39 番地

TEL (075) 874-5639 (代表・居宅)・(075) 874-5617 (デイ・ショート) FAX (075) 874-5640 (共通) E-mail: marble.2009@room.ocn.ne.jp ホームページ: http://www.marble2009.org

新しい年のご挨拶を申し上げます

理事長 福富恵美子

昨年は、消費税増税が決まり、生活保護の基準額の引き下げ、難病患者への医療費負担大幅増、 秘密保護法と国民のなかでも、とりわけ弱いものがより生きづらくなるような案件が盛りだくさんで した。公共事業への予算増がはかられても、東日本大震災への復興には行き渡らず、福島の問題も 置き去りにされたままで、原発輸出なんで話までもが出てきました。本当にこの国の先行きが心配で す。目先の利益にとらわれて本当に大事なもの、命がどんどん切り捨てられていくようです。今は、 具体的には、生活保護、難病患者への施策の中ですが、このまま行けば重度障がい者、そして障が いや病気のある人みんなへと広がっていきそうです。この流れを何とか変えなくてはなりません。

まーぶるでは、夏以降職員の退職が重なり、利用者の皆様にも、そして今残ってくださっている職員にもご負担をおかけしましたこと、まずはお詫びいたします。

年末にかけて、若干、非常勤の職員が入職しております。春に何けての新規採用の働きかけも全力で行っています。また、いまおられる契約職員さんの中から正職員への転換もはかり、職員体制の充実に努めております。

ことしは法人設立から5年目という節目の年であります。課題もたくさん見えてきました。2012年のデイ、ショートへの事業拡大にともなっての宿題も多くあります。

そして昨年から取り組みました、認定 NPO 法人取得への活動もより一層がんばらねばなりません。皆様には何度もご寄付のお願いを申し上げ、恐縮しておりますが、引き続きご協力をお願いし



たいと思っております。これは単に資金を得るためというものだけではなく、前段で申し上げた、生きづらい社会から、誰もが暮らしやすい社会へと転換していくための NPO 活動の一環であるととらえております。本当の共生社会実現のために会員様、利用者様を始め、近隣地域の皆様、職員のご協力を得て、まーぶるの存在、(障がい者の存在)を知っていただき、更に活動を充実させていきたいと思います。

今年がみなさまにとって、そして社会にとってよい年になります ことを祈念し、皆さまと共に歩んでゆきたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



今年もがんばります! よろしくお願いします!



統括主任 松山尚樹

先の総会で承認されました定款の変更手続きが完了しました。

今回の変更は、障がい福祉サービスの元となる法律が障害者総合支援法に変更された事と 2012 年から施行されている改正 NPO 法への対応などです。

これにより、次回から総会をEメールで行うことができるようになりました。

総会の議案を E メールでお届けし、賛否やご意見を E メールでお伺いする事で、 まーぶるの運営にご参加して頂きやすくなりました。

会計報告につきましても、<mark>これまでの損益計算書から活動計算書に</mark>変更され、より分かりやすくなりました。

昨年は、多数の退職者を出しご利用者様を始め皆様には大変ご迷惑をおかけいた しました。

現在、京都府福祉人材育成認証制度の認定、認定 NPO の認証に向けて準備をしております。

また、福祉職場就職フェア等への出展により、人材の確保にも取り組んでおります。 福祉人材育成認証制度では、処遇とキャリアパスに段階的な研修制度を連動させ、 介護職員のキャリアアップをサポートします。

認定 NPO 法人では、法人の活動にご理解、ご賛同頂いた方や企業、団体からのご寄付に対して、税制優遇を受けて頂けるものです。

その他、NPO 活動として、障がい者や難病患者が地域で暮らす為の難しさや問題解決に向けた提言をウェブサイトや機関紙を使って広く社会に発信していきたいと考えております。

組織基盤と財政の強化を行い、運営を安定させ、職員の処遇改善を行う事でヘルパーや生活支援員の定着を図り、ご利用者様に安心してサービスを受けて頂けるように頑張っていきたいと考えております。

これからもまーぶるの活動にご理解<mark>、ご協力くださいますよう、</mark>よろしくお願い 致します。

まーぶるコラム

— おいしいごはん② —

大橋 奈緒子

2013年は皆様にとってどんな1年だったでしょうか。日本では、 富士山の世界文化遺産認定、オリンピック東京招致等うれしい ニュースがあった反面、伊豆大島では台風による豪雨で多くの方が 亡くなられ、私たちの住む京都でも桂川が氾濫し、大きな被害を受け、改めて自然災害の怖さを知ったと同時に、そこから身を守るための対策を考えなければならないと痛感させられました。

さて。今回は「おいしいごはん②」と題しまして、口から食事をとることが難しい人たちについてお話していきたいと思います。

まず、口から食事をとることが難しい人たちとはどういった人たちなのかを考えていきたいと思います。

人は、食べ物を目にして、また、おいしそうな匂いで唾液(だえき)がでてきます。唾液には、 噛み砕いた食べ物をまとめ、飲みこみやすくしたり、消化を助ける働きがあります。

そして、実際に食べ物を口にするとその食べ物を噛み砕き、舌と唾液で食べ物をまとめ、飲みこみます。それが、食道を通り胃に入ります。胃では、食べ物をいったん蓄え、食物と胃酸を混ぜ合わせて、どろどろの状態のものを作って、十二指腸へと流れていきます。

ただ「食べる」ということだけで、実は非常にたくさんの過程があることがわかりましたね。 食べ物を飲み込むことがうまくできない人や、飲みこめても誤って気管に入ってしまう人、 食べ物を食べられるけれど、十分な量が取れない人がおられます。そういった人たちはどのよ うにして食事をとられるのでしょうか。

みなさんは、「経管栄養」という言葉を聞いたことがあるでしょうか?

字のまま「管を経て栄養をとる」方法なのですが。必要な時に口からチューブを入れて、胃に栄養剤を送る方法。鼻からチューブを入れておいたり、お腹に「瘻孔(ろうこう)」と言われる穴をあけ、胃や腸とチューブでつなぎ、そこから栄養をとったり。

では、そうした場合に食事は全く食べれなくなるのかというとそうではなくて。とろみのある

スープは、食べられる量だけは口から食べる。ジュースなどの飲み物は、口から飲む。など、その人の状態に合わせて口から食べ続けることをされている方もおられます。

私たちでも、おいしいごはんを食べて「幸せ」とほほ笑んでみたり、誰かと一緒にごはんを食べて「楽しい」と思ったり、 そういった小さな幸せをともに感じていきたいですね。





毎月の寄付の募集 ~ 毎月 3,000 円又は 5,000 円をご寄付いただく方法です ~

京都銀行 口座振替

お振り込み (振込用紙)

上記の方法でご寄付いただけます。 まーぶるのホームページの寄付金ページ の「寄付受付 入力フォーム」をお使い いただくか、当法人までご連絡ください。 後日、必要書類をお送りさせていただき ます。

*お申し出いただくことで、いつでも寄付をやめることができます。



重度障がい者や難病患者の地域生活支援には、医療 的ケア、熟練した介護技術と信頼関係が必要です。 重度重複障がい児者は、個別性が強く新しいへル パーとの関係づくりには、慣れた介護者との同行 を繰り返し、長期間に渡って徐々に慣れていく必 要があります。

ホームヘルパーや介護福祉士は資格取得時に医療的ケアを行うための十分な 訓練を受けていません。

サポーターの皆さまからの寄付金により、この同行介護や医療的ケアを守全 に行う為の訓練ができます。

回の寄付の募集

~ その都度、任意の金額でご寄付いただく方法です ~

以下の口座へお振り込みをお願い致します。

京都中央信用金庫 西京極支店 普通 0453574 特定非営利活動法人まーぶる 理事 福富恵美子

また、お振り込みいただきましたら、メールもしくは お電話にてご一報いただきますようお願いします。

正会員の募集

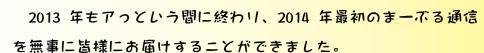
総会にご参加頂けます(議決権)





本年もよろしくお願い致します。





まーズる通信の原稿は理事長を始め、職員や利用者様にお願い し書いていただいています。職員の中には寝る間も惜しんで

記事の内容を考えたり執筆したりなどして、皆様に正確 でより良いものをお届けできるように頑張っています。

原稿を書いた職員に会われた際には、記事の感想や **質問などをドシドシしてあげてください!**

今後の励みになると思います!!

高田